

町立奥出雲病院に
とりうみ

鳥海善貴先生が 着任

町立奥出雲病院に十月一日
付けで、小児科の根宜医師の
後任として鳥海善貴医師が着
任。

鳥海医師には、小児科での
診察はもとより、子供の検診
や健康管理などにご尽力頂き
ます。

【主な略歴】

- ・平成七年三月 島根医科大学卒業
- ・平成十三年 島根医科大学附属病院勤務
- ・平成十四年 松江記念病院勤務



新入職員の紹介

町では、十月一日付けて次
の職員を採用。

奥出雲病院 診療放射線技師 山田 聖悟

ケーブルテレビの整備と活用 ～「テレビ」と「携帯電話」と「インターネット」～

今月は、「携帯電話」を巡る最近の情勢や課題について、その概要を説明します。

携帯電話 — 不感地域解消 —

1. 移动通信用鉄塔施設整備事業の積極的な導入

携帯電話の通じない「不感地域」を解消するため、携帯電話事業者による鉄塔施設整備に係る初期投資に対して、国5/10、県2/10、市町村3/10の費用負担を行う国庫補助事業を積極的に導入し、これまでに仁多地域7塔、横田地域6塔の鉄塔施設基地局を整備してきました。

2. 不感地域が散在

しかしながら、なお携帯電話の「不感地域」が散在します。

携帯電話事業者による整備が進まない要因として、鉄塔施設本体の維持管理費がかかること、鉄塔施設から携帯電話事業者の中継施設までの間の光ファイバー伝送路の調達経費の面で採算割れになることが挙げられます。

3. 第三世代携帯電話に対応する施設設備

現在、携帯電話事業者の設備投資は、第三世代携帯電話(通信速度384Kbps～2Mbps)のエリア整備のための対策に移行しています。従来に比べて伝送路の超高速・大容量化が求められるため、それらを可能にする光ファイバー回線を調達する必要が生じています。

このため、携帯電話事業者にとっては、光ファイバー回線の調達経費が従来にも増して設備投資の可否を経営判断する際の重要な要因となっています。

4. 光ファイバー回線の提供

携帯電話事業者が、奥出雲町内において光ファイバー回線を調達する際に、町の整備するケーブルテレビ(光ファイバー回線網を使用)を提供することにより、携帯電話事業者の調達経費軽減を実現し、不感地域解消を図る考えです。

5. IP電話の新たな可能性

近年、維持管理費が安価でかつ利用者間通信は低廉となるIP電話(番号が050で始まる)が普及していますが、これは全て有線での固定電話に限られています。

最近では利用者のコンピューター同士を直接接続させて通話できる音声通話ソフトが開発されており、この仕組みでは通信網や機器に多額の投資は不要となります。このソフト上では、コンピューターから携帯電話や固定電話に電話をかけたり逆に受けることもできます。また、最大5人までの同時通話や通話しながらのファイル転送もできます。

ケーブルテレビで光ファイバー回線網を整備し屋外無線基地局を設置すれば、携帯電話よりも便利な機能を持った通信が可能となります。

**横田地域は、今年度調査設計
来年度光ファイバー網整備**

介護保険「社会福祉法人等による利用者負担の軽減制度」が変わります。

社会福祉法人が運営する施設等で提供する介護サービスを利用する場合に、利用者負担額が減額される制度です。

この度、介護保険法の改正にあわせて幅広い方に減額を実施できるよう、対象となる方の条件や減額の割合が見直しされることとなります。

すでに「社会福祉法人等利用者負担軽減確認証」をお持ちの方、対象と思われる方へは別途案内をいたしておりますが一定の手続きが必要です。

詳細につきましては、役場健康福祉課介護保険係(☎54-2781)へ問い合わせ下さい。